



市子連マーク

大阪市子ども会

いくせい



大阪市子ども会
育成連合協議会

発行者 中山 良明
令和2年11月24日

発行所：大阪府中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂 市子連広報調査部 Tel.6941-1116 Fax.6943-8906

令和二年度

新しい年を迎えて

会長 中山 良明



平素より皆様方には、市子連の運営にご支援・ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

この度、令和二年度五月総会において、大阪市子ども会育成連合協議会 会長に再任させていただくことになりました。コロナ禍の状況下ではありますが、思い新たに任期を全うさせていただく所存です。

さて、世界中が新型コロナウイルス感染症に震撼し、社会全体が疲弊している現状です。

国内においては密閉・密集・密接いわゆる「三密」を避け、マスクの着用・手洗い・フィジカルディスタンスなど、新しい生活様式が求められています。

一方社会では、新型コロナウイルス感染症があることを前提に、今まで通りの日常を送るため「新しい生活様式」の実践が求められ、これに基づき子どもたちも学校やクラブ活動など新たな日常生活を送って

います。

まだまだ感染リスクにおびえる日々ですが、日常における子ども会活動は、新しい生活様式に鑑みながら一步一步前進しなければなりません。

令和二年度事業計画も、すでに延期や中止決定など、地域における子ども会活動が停滞している中で、長期的・短期的の両面から、子ども会が抱えている課題を多面的に検討することが必要です。

各区子連・単位子ども会ごとに、可能な範囲で活動を実践していただけるようにお願いいたします。

最後になりましたが、日頃から子ども会活動に携わっておられる皆様方に深く敬意を表すとともに、今後のご活躍とご健勝を祈念いたしましてご挨拶いたします。

役員紹介

令和二年度・三年度の市子連役員を

①在籍区名

②子ども会経験年数

③趣味の項目で紹介します。

会長 中山 良明

① 大正区

② 四十五年

③ ハイキング

副会長 梶本 行俊

(指導研修部担当)

① 阿倍野区

② 四十三年

③ スポーツ

副会長兼

ジュニア・シニアリーダー

育成委員長 木村 勉

(安全対策部・文化部担当)

① 西淀川区

② 五十年

③ テニス・スキー・ゴルフ

副会長 森下 秀海

(体育部担当)

① 住之江区

② 三十年

③ スポーツ観戦

(野球・サッカー・ラグビー)

副会長 新木 裕一郎

(広報調査部担当)

① 中央区

② 二十年

③ ソフトボール・ゴルフ・スキー

事務局長兼

安全共済会運営委員長

徳川 悦嗣

① 西淀川区

② 五十四年

(ジュニア・シニアリーダー八年)

③ 旅行

- 会計 上田 和世
- ① 平野区
- ② 二十九区
- ③ ソフトボール・バレーボール・編物
- 指導研修部 部長 原 憲司
- ① 生野区
- ② 十四区
- ③ 物作り等
- 文化部 部長 北村 勝康
- ① 大正区
- ② 二十年
- ③ ゴルフ
- 体育部 部長 帰山 和夫
- ① 東住吉区
- ② 七年
- ③ スキー・お酒
- 広報調査部 部長 菅野 幸一
- ① 西区
- ② 三十一年
- ③ (ジュニア・シニアリーダー八年)
- 安全対策部 部長 住友 俊明
- ① 淀川区
- ② 十七区
- ③ 科学遊び
- 鼓笛隊 隊長 向井 祐貴子
- ① 都島区
- ② 三十七区
- ③ 旅行

市子連ってどんな組織

平素は大阪市子ども会育成連合協議会の活動にご協力いただきありがとうございます。

単位子ども会を基本とした子ども会活動を各区の連合(連絡)協議会がとりまとめ、大阪市二十四区をまとめる上部組織として大阪市子ども会育成連合協議会があります。

キックベースボール・ソフトボール大会や鼓笛隊大会・こどもカーニバル・こども文化祭等の企画・運営や、子ども会育成者の指導・研修を組織として運営しています。

大阪市子ども会育成連合協議会(以下市子連)は、上部組織として、指定都市子ども会連絡協議会、全国子ども会連合会に加入して、相互の子ども会活動について意見交換や相互交流を図っています。

市子連ではいろいろな行事や研修を実施するにあたって、二十四区を「北」「中央」「南」「西」「東」の五ブロック(別表参照)に分けて各専門部を分担し、二年間持ち回りで担当していきます。

それぞれの専門部には常任理事を配置して事業内容の継続維持や常任理事・事務局との調整業務を担当します。

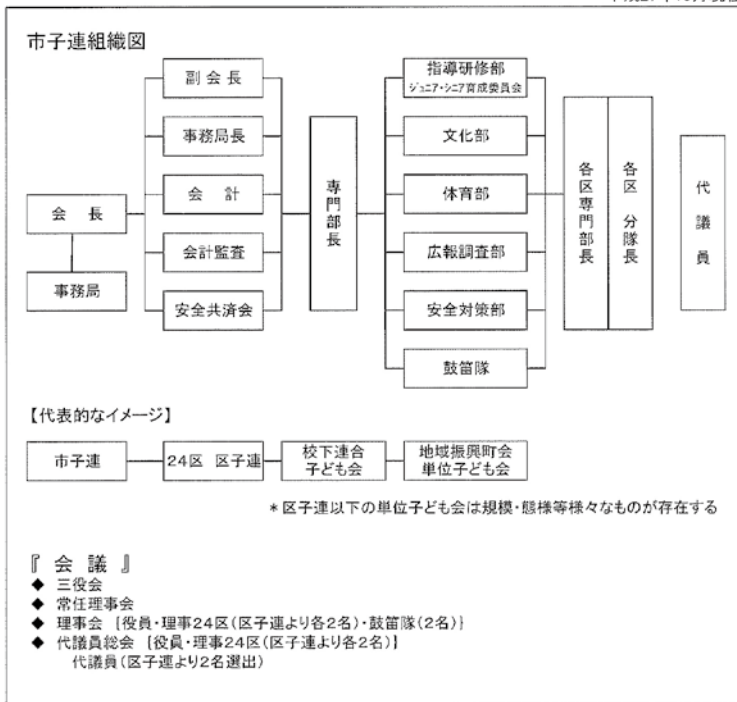
自分の区が今どの専門部を担当しているかご存じですか?是非、興味を持って頂き、今後の市子連活動にご協力をお願いします。

少しでも、市子連って何をしているところなのかを理解して頂き、活動に積極的にご協力・ご参加いただきますようお願いいたします。



大阪市子ども会育成連合協議会 組織図

平成27年10月現在



- ☆北ブロック・・・安全対策部担当
- 【北区・都島区・福島区・淀川区・東淀川区】
- ☆中央ブロック・・・広報調査部担当
- 【中央区・西区・天王寺区・浪速区・西成区】
- ☆南ブロック・・・体育部担当
- 【阿倍野区・住之江区・住吉区・東住吉区・平野区】
- ☆西ブロック・・・文化部担当
- 【此花区・港区・大正区・西淀川区・鼓笛隊】
- ☆東ブロック・・・指導研修部担当
- 【東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区】

各区子ども会の紹介

今回は、左記テーマで区子連の活動について原稿依頼をさせていただきま

☆区子連としてのコロナ禍での活動取組方法

☆区子連としてのジュニアの育成方法や取組

☆区子連のお財布事情

☆区子連としての独自の活動紹介

北 区



北区会長の中村です。

三月頃からの新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、各小学校の運動クラブの活動が自粛になり、夏のイベントが全て中止になりました。七月から活動再開されましたが、北区では十月末まで学校開放されず、各チームの練習場所確保を優先に区子連として活動しております。

少しでも活動場所を確保する為、地域の公営公園を確保するのに区役所窓口に相談して、子ども会が各団体に公平に割当出来るように活動を続けて行きます。

都 島 区



都島区会長の前川です。

都島区では、八月八日より学校の施設開放が再開されましたが、体育館や運動場を使用できない校区もあり、各連合の練習量も異なる状況です。

環境の違いや子どもたちの安全を考え、中止になった大会もありますが、秋季大会に備え、九月からも感染防止対策を徹底した上で練習していこうと思います。また、文化活動やその他の行事等でも、三密を避けて子どもたちになにか思い出を残せないかと模索しています。



福 島 区



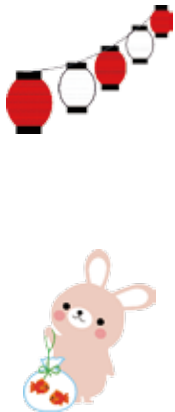
福島区会長の金尾です。

福島区子連では、毎年十月に開催される福島区民まつりでスーパースクールと金魚すくいを出店しています。

まつりが始まるとすぐに子どもたちの行列ができる人気ぶりです。

受付で百円を払えば、どちらか好きな遊びを選べるのですが、全くすくえなくても三個のスーパースクールか三匹の金魚を配ります。

それでも好きな子は何回でも並んで「これで五回目やで」という子もいるほどです。



此 花 区



此花区会長の奥田です。

此花区子連は区内に菜園を持っています。

五月は玉ねぎの収穫とさつま芋の苗植え、十月はさつま芋の収穫と玉ねぎの苗植えをします。

菜園で一番苦労するのは、それぞれの収穫後にする土おこしと畝づくりです。

それともうひとつ厄介なのが雑草取りで、梅雨時は、一週間もすると草が一杯で機械が使えず手作業になります。

普段の管理は三人の菜園担当者が黙々と頑張ってくれています。

玉ねぎの収穫は区子連の主催で単位子ども会の指導者に来てもらい行いました。今年は大変豊作で五百kgほど収穫が出来ました。

十月のさつま芋の収穫は、区社会福祉協議会・菜園管理委員会の主催で各地区老人会の畑からも自慢の作品(野菜)を出品してもらい品評会をします。

九月 Young Art Festival (第

四十一回子ども文化祭)を開催し、毎年出演者・観客が五百名参加する大きな行事の一つです。前年度終わって準備をしてきましたが来年度頑張ります。





中央区会長の新木です。

コロナ禍の中で中央区の区子連では、役員改定の年度にも関わらず、コロナ感染予防の為、区子連の総会を書面会議として実施することになるなど、区子連の運営にも大きな影響を与えました。

六月に大阪市の活動自粛解除を受けて、区子連理事会を開催。各単位子ども会の活動、募集状況を確認し、感染防止対策マニュアルの作成をして、保護者の同意のもとで各単位子ども会の判断での活動再開となりました。

こんな時こそ、各単位子ども会とのコミュニケーションを充実させ、できる範囲で活発な活動を支援して行きたいと思っています。



西区会長の菅野です。

さあこれから新年度をスタートさせるぞって時に、まさかこんな事になる

とは。今まで通りでは何ともならない。

じゃあどうしたらいいの？いつまで続くの？子どもたちの為にどうしたらいいの？どの選択が正しいのか、決断を出す事が、どんなに辛い事か。この見えない敵と、これからどう向き合っていくのか？

感染予防だけでなく、新たな活動方法を考えなければなりません。

皆で協力しあって、一歩ずつ乗り越えて行きましょう。



港区会長の瓜生です。

港区では、学校開放が活動再開された八月七日より子ども会活動も再開しました。

それまでに再開の時期や具体的な対策をどう取るべきかなど議論を重ね、活動を再開する際のマニュアルを区子連独自で作成し、各校下の指導者への説明会を六月に開催。各スポーツ活動

については当面体力作りを重点とし、感染防止対策など実施する中で練習を再開しました。

後日、指導研修部より効果的な消毒

や手洗いについて資料を配布しました。

今後も各校下と情報を共有し、安全に活動できるよう見守って行きたいと思っています。



大正区会長の北村です。

新型コロナウイルスの感染拡大により、三月より活動が一斉にとまりました。

いつになったら再開できるか、不安な日々を送っていました。

六月中旬に市内の幼・小・中・高校が再開されて、七月より理事会を再開しました。

感染防止策をとりながら、今後の予定を実現する方法を模索中です。



天王寺区会長の井川です。

四月の総会などは全て延期、六月に昨年度の事業報告と今年度の事業計画を決定する事ができました。

今年の行事については、コロナが収束し、実施できることを前提として準備を進めていく事になりました。

会議は三密を意識し、会議時間も一時間以内とし、グループラインで情報共有を図っています。

今後はWEB会議ができるように目指したいと思っています。



浪速区会長の小寺です。

当区では二〇一九年度に浪速区の補助金を活用して、大会に必要な運営備品を購入し、野球やソフトボールの楽しさを体験できる場としてチャレンジカップ・オブ・ナニワを開催しています。

区内の全児童が参加でき、事前練習会・学年別試合・保護者との親子試合で未経験者でもソフトボールの楽しさを存分に体験できます。

運営には、体協や青指・高校生ボランティアにも協力していただくことで、新たな人材の育成に努めています。



西淀川区会長の木村です。

西淀川区子ども会育成連絡協議会は、昭和三十九年三月五日に十三単位の参加の下に発足しました。その翌年よりジュニアリーダー研修会が開催されていきました。

のちに、ジュニアリーダー研修会修了者の活動場所が無いとの声が上がリ、平成十九年度にジュニアリーダー研修を修了したリーダーの次のステップとして、ジュニアリーダークラブが結成されました。

シニアリーダーの皆さんはジュニアの良きお兄さん・お姉さんと、子どもたちに慕われています。市子連・区子連子ども会の一泊研修会での計画・実行・反省と、子ども会活動には大切な存在となっています。

今後もリーダーの皆さんを後押しするのが指導者の責務だと思っています。



淀川区会長の水本です。

淀川区子連では、四月の緊急事態宣言発出に伴い、学校教育と連動して活動自粛を継続中です。解除後においても行政の指導を基本にして子どもたちが安心安全に学校生活や社会生活が出来るようにサポートすることが子ども会活動の基本と捉え見守っております。また、スポーツ大会を目指している活動に対しても、学校生活を基本とし、今は指導者がしっかりと子どもたちと向き合い我慢のしどころです。

いくせいが発刊する頃には子どもたちの元気な声を聞きたいものです。最後になりますが、医療現場において尽力されている医療従事者の皆様にご心より御礼申し上げます。



東淀川区会長の北川です。

私達は、子どもを指導する中で、それぞれの個性を見つけ出し、熱い指導を心掛けております。

少し前の話ですが、六年生主体のチームがあり、他の連合と練習試合をしても当然の様に勝ちます。

そうすると「自分達は、何もしくなくとも勝てる」とエゴが出てきた時に、このままでは絶対に成長が止まると思い、ある事をきっかけに、今までに無いくらいに叱りました。

もしかするとパワハラと言われるかも知れません。

心の底から愛情を込めて叱ると必ず、子どもたちに届きます。「怒る」のでは無く、「叱る」のです。

その六年生が卒業する時にプレゼントしてくれた色紙には「あの時、叱ってくれて良かったです」の文字を見た時、指導者として本当に嬉しく思いました。



東成区会長の樽口です。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校行事等の自粛 子ども会活動の行事が全て中止になりました。

区子連会長を引き受けて今年で二十二年になりますが、行事が何もかも出来ない苛立ちが募ります。

行事を実施することにより、各種団体より頂いておりました助成金が行事中止によりゼロになりました。年間約四十数万円が頂けない状況下です。

昨年度の繰越金約四十数万円と校下子ども会からの年会費六万六千円の予算でやり繰りしています。

行事が無くても固定費の支出が約十数万円は必要です。

今年度は、繰越金を取り崩さないで次年度へ持ち越したいものです。

早くコロナが収束して行事が出来る事を祈るだけです。





生野区の会長の原です。

当区子連の一押し事業として、毎年三月に「こども工作教室」を開催しております。物作りを通じて子どもたちに「想造」を感じてほしいと個人・団体・企業から物作り講師を招いて開催しております。

毎回子どもたちは、目を「キラキラ」させて楽しんでくれています。

固定概念に囚われず、ワクワクする事をこれからも企画していきたいと考えております。



旭区会長の向井です。

滋賀県高島市新旭町にて田んぼ、畑をお借りして、農業体験教室を行っています。

五月中頃に田植えとサツマイモの苗付け、九月中頃に稲刈り、サツマイモの収穫と、子どもたちや保護者にも好評で毎年参加される方も多いです。農



城東区会長の岡田です。

城東区は十六連合ありますが、昨今はどの連合も財政面・人材面ともに厳しく、区子連に参加されているのは十連合です。

各連合子ども会から区子連会費として八千円お預かりし、社会福祉協議会・スポーツレクリエーション協会からいただく助成金と合わせても年間二十六万円の予算で、区子連独自の新事業ができていないのが積年の悩みです。

区や地域の行事に模擬店等に参加し、活動資金を蓄えて子どもたちに喜んでもらえる新規事業を立ち上げたいと願っていますが、思うような成果を残せていないのが現状です。子どもたちのあふれる笑顔に出会え

るように区子連理事が一体となり、楽しくおもしろい「区子連新規事業」を目指しています。

そのために市子連で有益な新情報や画期的なアイデアがいただけますよう、アンテナを高くして市子連行事に取り組みたいと思います。



鶴見区会長の久野です。

鶴見区全十二校下で運営し明るく元気な子どもたちの成長を地域密着でサポートしています。

スポーツ育成は九月に区子連ソフト・キックベースボール大会を開催秋のライオンズクラブ球技大会を予定しています。文化育成は十二月に子ども文化祭で演奏、ダンスなどパフォーマンスの披露で会場全員盛り上がりたと思います。

試合や演技を通じ、子どもたちの真剣なプレーや達成感に満ちた笑顔で、保護者・指導者が一緒に喜び・感動をもらえるよう、コロナ禍ですが注意工夫して運営していきたいと考えています。



阿倍野区会長の梶本です。

阿倍野区ではジュニアリーダーの育成事業として、毎年夏休み期間に「やまざとステイ」という二泊三日の宿泊研修を行っています。海や山や湖に繰り出し、野外炊飯・キャンプファイヤー・クラフト作りやアウトドアを満喫する人気行事です。

リーダーも多く、小学校の低学年で初参加し、毎年中学生まで参加し続けて、その後リーダーとなり参加する側から楽しませる側となり心強い限りです。

今年度は多くのイベントが中止となりましたが、この行事は行います。今年は京都のるり沢自然の家です。後日、若いリーダーたちの奮闘をご報告できればと思います。





住之江区会長の森下です。

住之江区では、ジュニアリーダーの育成に取り組んでおります。

未来を担う子どもたちの中心となり、活動を通じて学校や日常生活では得られない事を体験し学ぶ事で、子ども会活動・地域活動の活性化に繋がります。

今後より一層、各団体の皆さまとともに、ジュニアリーダーの育成に取り組んでまいります。



住吉区会長の南です。

指導研修会は、コロナ禍での活動取組方法として、野外にて少人数で時間帯を決めて資料（テキスト）等で説明して、指導者の研修会を行いました。参加は昨年より減少しましたが、充実した研修会ができました。

子どもたちのスポーツ事業については、安全確保を行い、大会の参加者募

集をしましたが、親御さんは安全かどうか心配され、この事業が区青指との協賛であることから、区役所側に認めてもらうことが出来なかったため、今年度は中止になりました。

今年度は、区子連結成六十周年で記念誌は制作する事で進んでいます。式典（会場：住吉大社吉祥殿）については未定です。

今後共々指導賜りますようお願いいたします。



東住吉区の桶村です。

新型コロナウイルスの影響により何も出来ない中、六月になんとか書面決議をもって総会を納める事が出来ました。

そして七月より、少人数にて理事会を開催し新年度がやっとスタートしました。また、校庭開放も順次再開し、子どもたちの練習等もスタートしましたが、区子連の行事を再開するに至らない現状であります。

理事の皆さんと力を合わせて、コロナと向き合いながら、子どもたちの笑

顔が見られるように頑張っていきたいと思えます。



平野区会長の吉田です。

新年度を迎えて各企画を実施しようとしていたところ、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言に伴い、地域活動の自粛制限・学校休校など、今後の子ども会活動の危機を感じました。

宣言解除後は、子ども会活動の取り組みを見直して、活動を行うときは新しい生活様式を実施し、参加者の人数制限をするなど、「三密」に注意して、区子ども会役員共々、感染防止に今後とも努めていこうと思います。



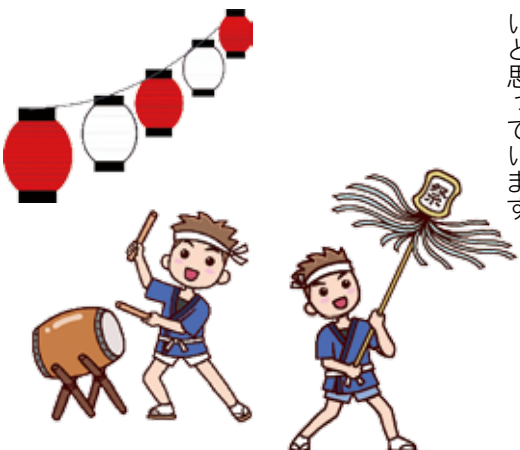
西成区会長の住釜です。

昭和四十七年に大阪府指定有形民俗文化財第一号となった『玉出のだいがく』が当区にあり、夏祭りの神事に使われます。

この伝承行事を子ども会活動として取り組もうと一昨年前に立ち上げました。

小学校の校庭開放事業の一員として、内容は枕太鼓やだいがく音頭の稽古が基本になります。

対象となるのが三小学校下なのですが、今後は地域の枠を超え『西成区の伝承行事』として活動を広めて行きたいと思っています。



八月八日子ども会の日 清掃活動報告

【北区】

* 豊仁子ども育成会

【福島区】

* 海老江西子ども会

【西区】

* 明治小校下子ども会

【天王寺区】

* 楞嚴寺子ども会

* 真田山子供会

* 桃陽連合子供会

* 四恩子ども会

* 生魂子供会

* 五条子供会

【西淀川区】

* 姫里子ども会

* 宮池子ども会

* 御幣島東子ども会

* 香簀連合 西二子ども会

* 香簀歌島子ども会

* 奥代子ども会

【淀川区】

* 十二連合子ども会

【東淀川区】

* 大桐連合子ども会

【旭区】

* 大宮子ども会育成連合会



【住之江区】

* ドリーム子ども会

* 星の子子ども会

* わかあゆ子ども会

* 加賀谷子ども会

* 粉浜二西子供会

* 新西三子ども会

* 粉浜三西子ども会

* 高燈籠子ども会

* 浜口子ども会

* 西一中子供会

【東住吉区】

* 今川連合子ども会

(順不同)



暑い日差しの中、汗だくで地域の清掃に従事して大変だったね！でも、振り返るときれいになった！って、達成感が得られたのでは！来年も頑張ろうね！



どれだけゴミを拾えるか競争して、非常に楽しい雰囲気でした



風とびそうな葉っぱを拾うのが楽しかった～♪



朝早くて眠かったけど、昆虫も採れて楽しかった



コロナでマスクをつけての清掃活動はとても暑くて大変だった



大人のゴミに対する意識を高めて、子どもたちにごみ拾いをさせなくてもよい環境づくりが必要だと思いました



「釣り糸のゴミは鳥や魚に絡まってケガをしたり飲み込んだりして死ぬこともある」と中学生に教えてもらって、子どもは一生懸命釣り糸を拾っていました。ただ単に景観だけではなく、そこに生息する生き物たちの命を奪うことにもなると、子どもたちはとても大切なことを学びました



暑かったけど地域がキレイになって良かった

編集後記

コロナ禍の中でスタートした今期の子ども会活動をどのように広報しようかと模索の中から今回の紙面を作成しました。市子連の広報誌として、市子連をよく知ってもらおうと紙面作りをしました。投稿いただいた各区子連会長様、ご協力ありがとうございました。